

施設総量の縮減率(コスト面から算出した場合)

1. 第1期の縮減率の考え方

(1) 更新費用

既存施設をすべて維持した場合の今後40年間の更新費用	3,300億円(82.5億円/年)
過去5年の投資水準から算出した今後40年間の更新費用	1,360億円(34億円/年)
	△1,940億円 (△48.5億円/年) ①

今後40年間で1,940億円(48.5億円/年 ①)の不足

(2) 施設の廃止による効果(延床面積の縮減1%当たり)

・更新費用 ・光熱水費等の維持管理費 ・人件費や事業費等の運営費 ・土地売却収入

対象費用	効果額(1%当たり)
ア 更新費用及び維持管理費用	0.6億円/年
イ 人件費、事業費等の運営費	0.57億円/年
ウ 土地売却収入	0.42億円/年
合計	1.59億円/年 ②

(3) 縮減率

②÷① ⇒ 30.5%(40年間での縮減率)

⇒数値目標(第1期 3% 第2期15% 第4期30%)の設定

2. 第2期も同様に縮減率の考え方により算出する場合

(1) 更新費用

既存施設をすべて維持した場合の今後30年間の更新費用	2,190億円(73億円/年)
過去9年の投資水準から算出した今後30年間の更新費用	1,170億円(39億円/年)
	△1,020億円 (△34億円/年) ①'

今後30年間で1,020億円(34億円/年 ①')の不足

(2) 施設の廃止による効果(延床面積の縮減1%当たり)

上記1(2)と合計は同程度を見込む (物価高騰を見込んでいない)

(3) 縮減率

②÷①' ⇒ 21.4%(30年間での縮減率)

⇒仮に数値目標として設定する場合 第2期に延床面積7%以上の縮減が必要

第2期の10年間で7%以上の施設を統廃合し、数値目標を達成することは現実的に難しい